

2017年1月19日

第13号

全労連

全労連
憲法・平和グループ

憲法 平和闘争ニュース

安倍政権NO！ + 野党共闘★0114大行進in渋谷



「安倍政権の暴走を許すな！野党は共闘しよう」と安倍政権NO☆実行委員会は、1月14日渋谷・代々木公園ケヤキ並木で集会、渋谷から原宿へデモ行進を行ないました。小雪舞う底冷えのする寒い日でしたが、2000人が参加し、「安倍はやめろ」「一緒に変えよう」と安倍政権の早期退陣を求め、あつく熱く訴えました。

13時過ぎから始まった集会では、主催者を代表して首都圏反原発連合のミサオ・レッドウルフさんは、「台湾も脱原発に舵を切った。比べて日本のていたらくは恥ずかしい限りだ。市民と野党の共闘で安倍政権にNOを突き付けよう」とあいさつしました。

“I am not ABE”の提唱者である、元経産省官僚の古賀茂明さんは、「安倍批判ではなく安倍のやっていることは間違っているという意思表示である。原発輸出・武器輸出・ギャンブル大国の3本の矢は、悪魔の成長戦略だ。新潟の米山知事を誕生させたのは市民の力、夜明けは近いそう信じてがんばろう」と訴えました。

野党共闘を可視化しようと4野党があいさつ。自由党の渡辺浩一郎東京都連会長は、「原発にかわるエネルギーはたくさんある。ドイツや台湾でも止める方向で動いている。政治の決断で原発をやめさせること。野党共闘で政権交代を」、日本共産党の吉良よし子参議院議員は、「安倍首相は酉(とり)年は変化の年がというが、市民と野党の力で転換させる年にしよう。福島切りすて、南スーダンへの派兵などのちと暮らし、民主主義をないがしろにする安倍首相は、国の長として恥ずべきだ。世界に誇る日本国憲法を変えさせてはならない」、社民党の福島瑞穂参議院議員は「1月20日から始まる通常国会、残業代ゼロ法案の廃案、現代版『治安維持法』である『共謀罪』の提出を許さない。沖縄や原発問題も国会・自治体・裁判・選挙などのたたかいで止めよう。憲法公布70年の年、韓国のようにみんなの力で安倍を退陣させよう」、民進党の菅直人元首相は、「世界の流れは原発廃炉へとむかっている。昔は薪でエネルギーを供給してきたように、農山村を生きかえらせ再生可能エネルギーをうみだすことが可能。飛躍の年にしよう」と呼びかけ、『野党共闘』で政権交代を実現しよう」と声をあげました。

14時からサウンドデモ、ドラム隊、プラカードなど趣向を凝らし、大勢の若者で賑わう渋谷から原宿にかけて4キロをデモ行進して訴えました。沿道から手を振る人、写真を撮る人も多く、注目度抜群のデモになりました。



1月16日(月)「憲法9条を守る和歌山弁護士の会」主催のランチタイムデモが開催されました。外は冷たい風が吹きつけるなか、「憲法九条を守ろう！」「共謀罪反対」「自由は離さない！」と熱くシュプレヒコールをあげながらデモを終えました。



全教女性部委員会終了後、恒例となった市ヶ谷駅周辺での宣伝行動。16時過ぎから

30分余りでしたが、寒風吹きすさぶ中、18人が参加して、全労連女性部作成の春闘チラシとティッシュを配り宣伝しました。例年のように成人式帰りの若者や親子連れなど道ゆく人たちに教育や暮らしの問題について訴えました。